

# 矢掛町水道事業ビジョンの概要

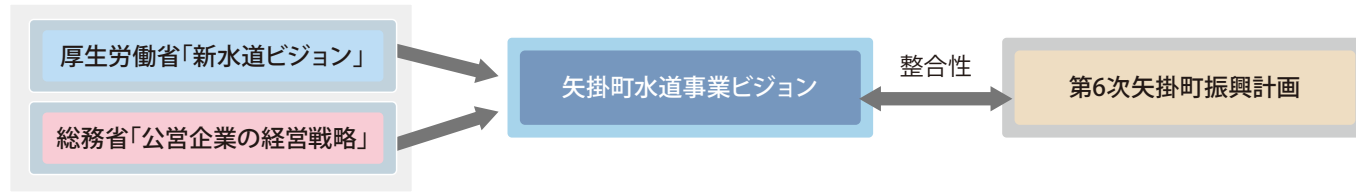
—安全で安心な水をいつまでも継続する矢掛の水道— 安全・安心やかかげの水Do!



## 1 水道事業ビジョン策定の主旨

平成28年度に策定した「矢掛町水道事業ビジョン」は、本町水道事業が進むべき方向について、「第6次矢掛町振興計画」との整合性を図りながら、厚生労働省の「新水道ビジョン」が示す水道の理想像「安全」、「強靱」、「持続」および総務省が策定を求めている「公営企業の経営戦略」の内容をあわせ持つものとして、中・長期的な事業運営の方針を示したものでした。

本ビジョンに示した目標は、今後の取り組みとして具現化するとともに、財政状況や町民のニーズなどを踏まえて5年毎に見直しを行うこととしており、このたび策定から5年が経過したため、進捗状況および環境の変化を踏まえた見直しを実施いたしました。



## 5 課題と対応策

	実績 ← → 計画										
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
アセットマネジメントの実践	アセットマネジメント計画 第1期										
施設のダウンサイジング・統廃合	水需要の動向から費用対効果について随時検討										
有収率の向上(漏水への対応)	令和8年度 目標有収率90.0%										
東川面浄水場の耐震化	認可取得	詳細設計	3ヶ年工事								
建造物の耐震化	アセットマネジメント計画の更新に併せて耐震化										
管路の更新	石綿セメント管の更新 → 塩化ビニル管の更新										
DXの推進	導入可能性について検討										
外部委託の検討	更なる業務の効率化へ向けた外部委託の検討										
広域化の推進	検討会の実施 物資の共同調達および人的連携などソフト面について検討										
高効率機器の導入	アセットマネジメント計画の更新に併せて高効率機器を導入										
太陽光発電設備の導入	江良水源地で運用中										
クリプトスポリジウム対策	東川面浄水場の耐震化と併せて実施										
東川面水源水量の増強	基礎調査 → 認可取得詳細設計 → 2ヶ年工事										
水安全計画の策定	計画・運用										
情報の広報・周知体制	広報紙、メールおよびSNSの活用・ホームページの充実化										
防災計画の策定	計画の見直しおよび実践活動										
災害備蓄品の整備	備蓄品の維持管理										
給水基地の設置	緊急時の運用										

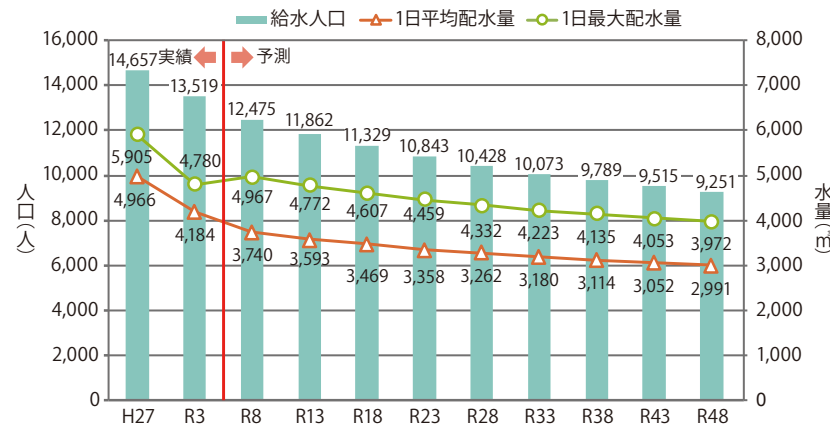
## 2 水道事業の概要

本町の水道事業は、昭和47年に創設し、昭和50年に給水を開始して以来、水需要の増加や給水区域の拡張に対応するため、第五次にわたる拡張事業に取り組んでまいりました。

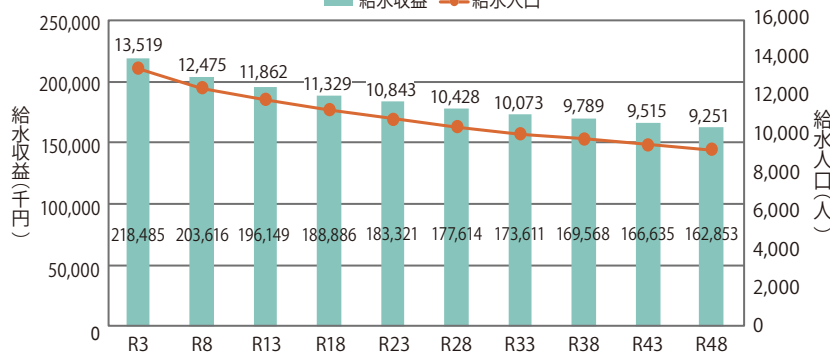
令和3年度末の現在では、給水人口は13,519人、普及率が99.6%となっており、安全な水の供給と耐震性の確保に向けた東川面浄水場の全面更新を進めており、令和5年度末の竣工予定となっています。

## 3 水道事業を取り巻く環境

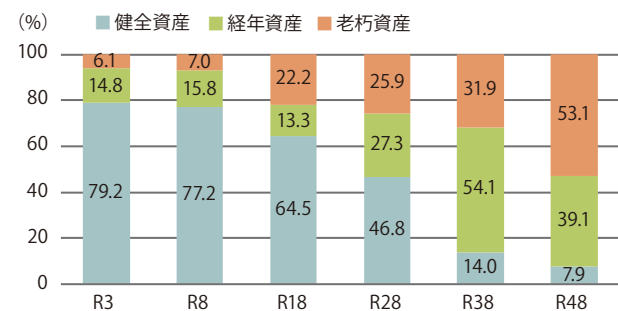
### 人口および水量の減少



### 資金の確保



### 施設の老朽化



## 4 目指すべき方向性

### 矢掛町水道事業ビジョン

安全で安心な水をいつまでも継続する矢掛の水道  
水道の理想像 「安全・安心やかかげの水Do」

- 持 続** いつまでも町民から信頼される水道サービスの持続 (本町の主要施策)
- 安 全** 安心して蛇口から直接飲める水道の確保
- 強 靱** 災害に強い施設と組織の形成

## 6 フォローアップ

矢掛町水道事業ビジョンで掲げた各施策を確実に実施していくため、PDCAサイクルを実施し、各施策の進捗状況や設定した目標の達成度などの検証・評価から5年ごとの見直しを行います。

